

所在地	〒531-0074 北区本庄東3-4-8	
電話番号	06-6371-7452	
校長名	川崎 俊己	
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j512005	

教育目標

【校訓】希望・努力・友情・自律

【学校教育目標】人間尊重の精神を基盤とし、多様な価値観をもつ人々と協働しながら、持続可能な未来を切り拓く力を育成する

【めざす生徒像】・自ら課題を見つけ、考え、自分の意見を話し、主体的に行動する生徒
・心身を鍛え、あきらめずにやり抜く生徒
・お互いの違いを理解し、尊重しあう生徒
・自らを律し、自ら学び続け、自らを表現する生徒

【めざす教職員像】・常に学び続け、確かな授業力と専門性を備えた教職員
・生徒一人ひとりに寄り添い、実態を的確に把握した指導ができる教職員
・鋭い人権感覚と倫理観を持ち、保護者や地域から信頼される教職員
・高い危機管理意識を持ち、生徒の命と安全・安心を確実に守る教職員

【めざす学校像】・「主体的・協働的な深い学び」を通して、総合的な学力を育む学校
・多様性を認め、一人ひとりの個性と人権を尊重する学校
・地域・家庭・関係諸機関と密に連携し、「チーム学校」として生徒を育てる学校
・いじめの未然防止・早期発見・早期対応に組織的に取り組む、安全・安心な学校

【具体的項目】1 安全で安心な教育環境の整備と、人権尊重に基づく生徒支援の充実（不登校・個別ニーズへの支援、防災・減災教育、健康・体力の増進）
2 「主体的・対話的で深い学び」を軸とした、学びの質の向上（教科横断的な学習、自主学習習慣の確立）
3 ICTと学校図書館を活用した、学習環境と情報活用力の充実（学習者用端末の活用、情報共有、探究的な学習）
4 キャリア教育と国際理解教育の充実による、社会で生きる力の育成
5 地域・家庭・関係諸機関と連携した、開かれた学校づくり（大学や企業連携を含む）
6 教育活動を支える教育環境・校内体制の計画的整備

沿革

昭和24年	4月	大阪市立大淀第2中学校として創設
	5月	大阪市立豊崎中学校と改称
昭和32年	3月	文部大臣(当時)より表彰
昭和35年	12月	講堂兼体育館竣工
昭和54年	6月	創立30周年並校舎増築落成記念式典
昭和57年	4月	新豊崎中学校、分離独立
	5月	豊崎市民レクリエーションセンター開所
昭和60年	4月	「帰国した子どもの教育センター」創立
平成 3年	12月	格技室竣工
平成 6年	3月	体育館竣工
平成 7年	3月	西校舎、プール竣工
平成10年	2月	クラブハウス設置
	12月	創立50周年記念式典
平成17年	7月	学校耐震改修工事
平成18年	9月	エレベーター設置
平成21年	10月	創立60周年記念式典
平成23年	1月	太陽光発電パネル西館屋上設置
令和元年	11月	創立70周年記念式典
令和 2年	11月	各学年フロアにデジタルサイネージを設置
令和 3年	6月	体育館空調工事
令和 4年	8月	本館(南館)外壁改修工事着工
令和 5年	1月	本館(南館)外壁改修工事終了
令和 6年	7月	校内LED化工事
令和 7年	10月	北東ブロック塀改修工事終了
令和 8年	7月	正門スロープ改修工事、体育館前スロープ設置工事着工(予定)
令和 9年	1月	正門スロープ改修工事、体育館前スロープ設置工事終了(予定)

学校運営に関する計画

■計画の概要

本校では、大阪市教育振興基本計画をふまえ、「安全・安心な教育の推進」「未来を切り拓く学力・体力の向上」「学びを支える教育環境の充実」の視点において、各数値目標を設定しています。

■中間目標及び年度目標（※中学校HPより一部抜粋）

【安全・安心な教育の推進】

- 校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけない。」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を88%以上にする。(令和7年度 86.1%)
- 校内調査における「学校や学級が楽しい。」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を令和7年度と同程度にする。(令和7年度 93.8%)
- 校内調査における「自分には、よいところがある。」に対して、最も肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上にする。(令和7年度 77.8%)



【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 校内調査における「授業では、話し合う活動によって、自分の考えを深め、広げることができている。」に対して、最も肯定的な回答をする生徒の割合を50%以上にする。(令和7年度 47.4%)
- 令和8年度の中学生チャレンジテストにおいて、国語・数学ともに平均点の対比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も令和7年度より上回る。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、総合評価A及びB判定の割合を男女とも令和7年度を上回る。(令和7年度 男子 12.1% 女子 32.5%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和8年度の校内調査において、「授業で学習者用端末をどの程度使用したか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を80%以上にする。(令和8年度より新設した目標のため令和7年度データなし)
- 「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を30時間以内とするとともに、時間外勤務時間が30時間以内となる教職員の割合を40%以上にする。(令和8年度より新設した目標のため令和7年度データなし)
- 校内調査(保護者)における「学校は、地域・家庭に向くなど、日常的に地域連携に努めている。」に対して、肯定的な回答をする保護者の割合を90%以上にする。(令和7年度 87.7%)

【※詳細は学校ホームページをご覧ください】

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果

国語	数学	理科
61	55	519

国語・数学：平均正答率(%)
理科：平均IRTスコア

■結果の概要・取組の成果と課題

【結果の概要】

【国語】平均正答率の比較において、大阪府とは9ポイント、全国とは6.7ポイント上回る結果を得ることができた。
無解答率の比較においては、大阪府とは2.3ポイント、全国とは1.8ポイント低い結果を得ることができた。
【数学】平均正答率の比較において、大阪府とは8ポイント、全国とは6.7ポイント上回る結果を得ることができた。
無解答率の比較においては、大阪府とは5.0ポイント、全国とは3.5ポイント低い結果を得ることができた。
【理科】平均IRTスコアの比較において、大阪府とは32ポイント、全国とは16ポイント上回る結果を得ることができた。

【取組の成果と課題】

平均正答率及び無解答率は、大阪府全国と比較して概ねよい結果を得ることができました。これは、授業担当者が、教育センター等の研修を受けて授業改善を図っていることはもちろんですが、学校全体での取組である「規則正しい生活習慣を身につけること」や「朝読書」などによって、生徒が落ち着いた雰囲気の中で授業に臨めていることも大きいと考えられます。
加えて、「誰一人取り残さない学力の向上」をめざし、学力向上支援サポーター 等の人材資源を活用し、授業において、生徒を複数名で指導・支援できる体制を整えることができていることも成果をあげることにつながっていると考えられます。
今後は、ボリュームゾーン(受験者の得点が最も多く集中している得点範囲)の底上げをすることで、生徒全体の学力水準を改善していくことが課題です。

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	30.89	24.50	40.17	47.31	72.22	8.22	195.06	18.97	37.24
女子	22.25	19.18	40.74	41.77	47.88	9.26	155.95	12.52	42.15

(種目別平均値)

■結果の概要・取組の成果と課題

【結果の概要】

男女ともに、ほぼすべての種目で全国平均を下回った。体力合計点については、男子が全国平均を4.5ポイント、市平均を4.0ポイント下回る結果となった。女子も全国平均と市平均にそれぞれ4.6ポイント、5.1ポイント下回った。

【取組の成果と課題】

男女ともに、結果が全国平均を下回る種目が増え、体力合計点は令和6年度よりも平均点が男女とも下回りました(男子 全国平均 -4.5ポイント・大阪市 -4.0ポイント、女子 全国平均 -4.6ポイント・大阪市 -5.1ポイント)。その中でも、全国平均にわずかに届かなかった種目も数種目ありました。同調査の生徒質問紙による「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対する肯定的な回答は男子86.9%、女子68.2%(全国平均 男子91.1%、女子77.3%)でした。「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツへの様々な関わり方について、興味や関心がありますか。」に対する肯定的な回答は、男子81.6%、女子61.4%(全国平均 男子88.2%、女子73%)でした。
このことから、本校生徒は、男女ともに運動やスポーツそのものを「好き」と感じている割合や、運動・スポーツへの多様な関わり方に対する興味・関心が、全国平均と比べて低い傾向にあることが分かりました。特に女子においてその差が大きく、運動やスポーツに対する心理的なハードルや関心の持ち方に課題があると考えられます。今後は、競技志向に偏らず、楽しさや達成感を味わえる活動、見る・支える・応援するといった多様な関わり方を取り入れることで、男女それぞれの実態に応じた運動・スポーツへの関心を高めていく取組を進めていきます。

卒業後の進路 【過去3年間・卒業生総数202名】(令和7年度69名、令和6年度62名、令和5年度71名)

※過去3年間の進路先を五十音順に掲載しています。進学者数の3年間の累計が3名以上の場合、学校名の後ろに人数を明記しています。

【国公立】

旭(5)、市岡、茨木、桜和(5)、大阪公立大学高専(3)、大阪ビジネスフロンティア、大手前、北千里、北野、柴島(4)、工芸(3)、高津(3)、港南造形、桜塚(7)、桜宮(4)、島根県立津和野、島根県立安来、吹田、水都国際、住吉、住吉商業、成城、中央、槻の木、出来島高等支援、天王寺(2)、刀根山(3)、富山県立高岡支援、豊中、なにわ高等支援、花園、汎愛、東、東淀川(4)、東淀工業、福井、港、都島工業、桃谷、守口東、淀川工科、淀川清流、淀商業、和歌山県立向陽

【私立等】

あべの翔学、上宮、英真学園、S、N、追手門学院大手前、大阪(12)、大阪偕星学園、大阪学院大学(5)、大阪学芸、大阪国際、大阪産業大学附属(6)、大阪信愛学院(6)、大阪成蹊女子(9)、大阪つくば開成(3)、大阪電気通信大学、大阪桐蔭、大阪夕陽丘学園(5)、大阪緑涼、おおぞら梅田、関西情報工学院、関西大学第一、近畿大学附属、クラーク高等学院、好文学園女子、金光藤蔭、秋桜、常翔学園(5)、星槎国際、星翔、宣真、太成学院大学(4)、東海大学付属熊本星翔、東朋高等専修、長尾谷(3)、浪速、梅花、東大阪大学敬愛、姫路女学院、箕面自由学園、武庫川女子、明浄学院、明星、桃山学院、盛岡誠誠、四谷学院、履正社(3)、立命館宇治、ルネサンス大阪、YMCA学院

学校の特徴

本校は、1年生3クラス、2年生2クラス、3年生3クラスの小規模校です。集団行動を基盤とし、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成に取り組んでいます。落ち着いた雰囲気の中で教育活動が展開されており、生徒会を中心に、自律した集団としての姿が育まれています。

学校行事

4月	入学式
5月	修学旅行(3年) 一泊移住(1年)
6月	体育大会 校外学習(2年)

10月	文化発表会
11月	職場体験(2年) 地域合同防災訓練
3月	卒業式



一泊移住
(信太山)



修学旅行
(中国・四国方面)



体育大会

地域合同防災訓練

毎年11月の土曜授業で、地域合同防災訓練を行っています。
地域活動協議会、区役所、消防署等たくさんの人たちにご協力をいただいています。
避難所開設・受入れ、AED・心肺蘇生法、応急措置・避難所設置、煙体験など多くのことを実習で学びます。



標準服について

令和元年度から、標準服を変更しました。
スラックスとスカートが選択できます。

